

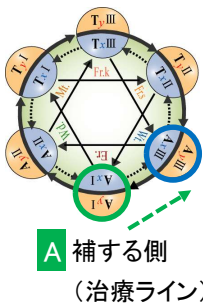
遠絡統合療法 基礎医学セミナー

7-b 十二経脈変化論
相輔・相克の詳解

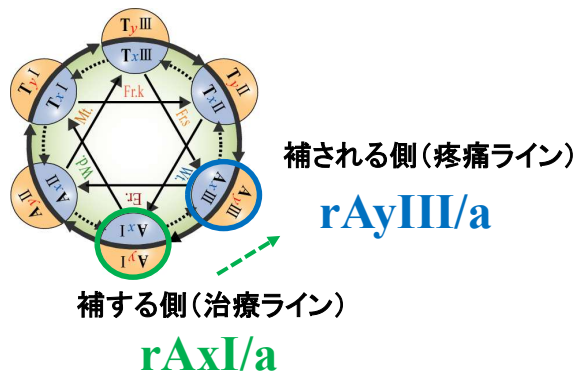


相輔

治療ラインの陰経を補して増強することで相輔関係にある疼痛ラインの実虚を改善する



相輔の治療例 右後頸部痛 (rAyIII/a)

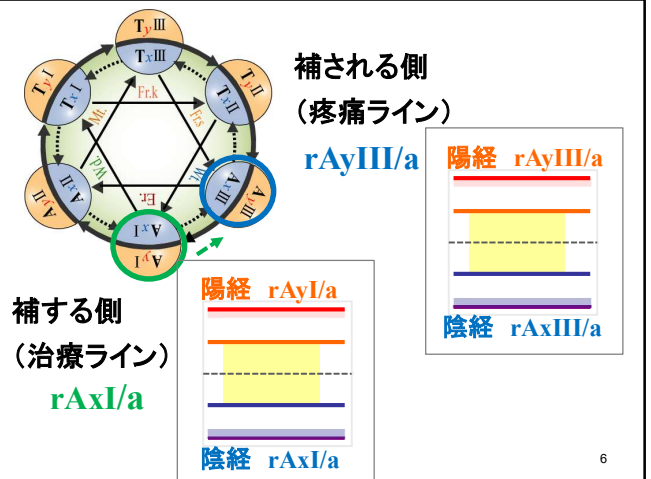
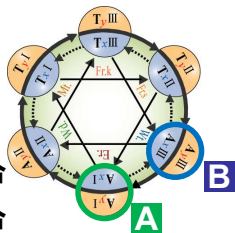


相輔におけるラインの状態

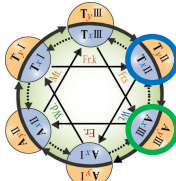
A 輔する側 (治療ライン) B 輔される側 (疼痛ライン)

A と B の表裏がそれぞれ、

- 1 正常の場合
- 2 「実」と「正常」の場合
- 3 「虚」と「正常」の場合
- 4 「実」と「虚」の場合



A 輔する側への手技



B 補される側(疼痛ライン)

A 補する側(治療ライン)

① 正常 ② 「実」と正常 ③ 「虚」と正常 ④ 「実」と「虚」

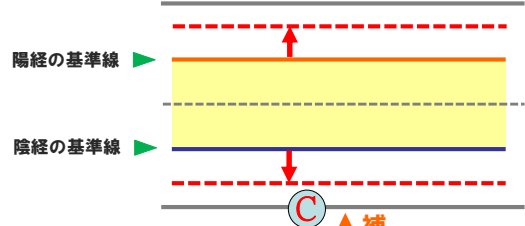
陽経
陰経

A 輔する側への手技

1 陽経・陰経ともに正常の場合

陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す。

→ 陰陽のラインが実側に増加する



陽経の基準線
陰経の基準線

C ▲ 補

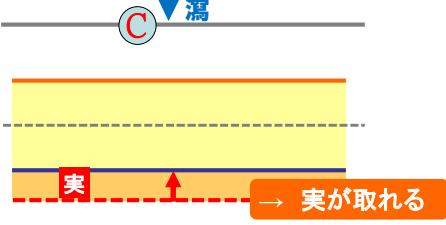
8

A 輔する側への手技

2 「実」と「正常」の場合

① 「実」を除く(C-pointを使って瀉す)

② 陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す



陽経の基準線
陰経の基準線

C ▼ 瀉

実 → 実が取れる

9

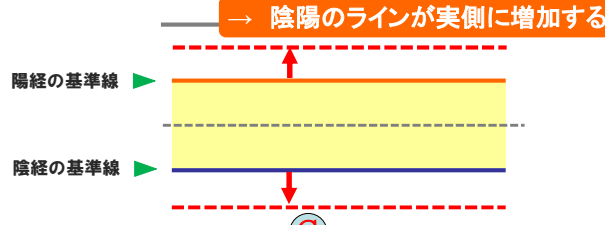
A 輔する側への手技

2 「実」と「正常」の場合

① 「実」を除く(C-pointを使って瀉す)

② 陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

→ 陰陽のラインが実側に増加する



陽経の基準線
陰経の基準線

C ▲ 補

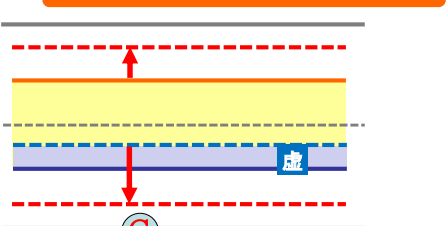
10

A 輔する側への手技

3 「虚」と「正常」の場合

陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

→ 陰陽のラインが実側に増加する



陽経の基準線
陰経の基準線

C ▲ 補

11

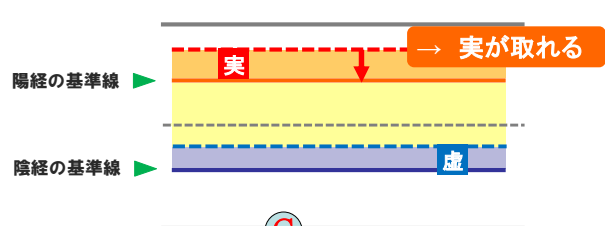
A 輔する側への手技

4 「実」と「虚」の場合

① 「実」を除く(C-pointを使って瀉す)

② 陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

→ 実が取れる



陽経の基準線
陰経の基準線

C ▼ 瀉

12

A 輔する側への手技

4 「実」と「虚」の場合

- ① 「実」を除く(C-pointを使って瀉す)
- ② 陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

→ 陰陽のラインが実側に増加する

陽経の基準線
陰経の基準線

C ▲ 補

13

B 輔される側の変化

補する側が増強する場合、補される側はどう変化するか？

A 補する側 (治療ライン)
B 補される側 (疼痛ライン)

B 輔される側の変化

B 補される側 (疼痛ライン)
A 補する側 (治療ライン)

- ① 正常
- ② 「実」と正常
- ③ 「虚」と正常
- ④ 「実」と「虚」

陽経
陰経

15

B 輔される側の変化

1 陽経・陰経ともに正常の場合

基準線
基準線

変化なし

16

B 輔される側の変化

2 「実」と「正常」の場合 実が減少する

実側の基準線がシフトする

新しい基準線
陽経の基準線

陰経の基準線

正常側の基準線は変化しない

17

B 輔される側の変化

3 「虚」と「正常」の場合 虚が減少する

正常側の基準線は変化しない

陽経の基準線

新しい基準線
陰経の基準線

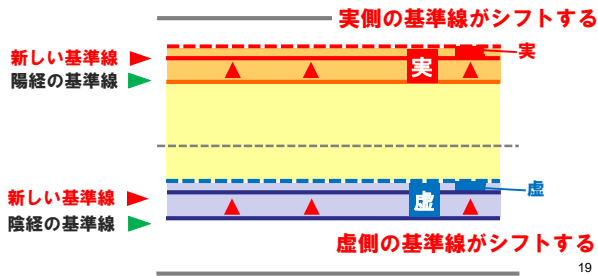
虚側の基準線がシフトする

18

B 輔される側の変化

4 「実」と「虚」の場合

実・虚がともに減少する



19

相輔の効果

輔される側(疼痛ライン)の

陰陽の一方または両方が「実」の場合

実の症状は改善

陰陽の一方または両方が「虚」の場合

虚の症状は改善

陰陽の一方が「実」で一方は「虚」の場合

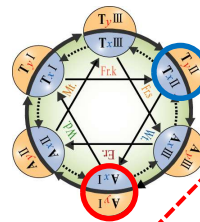
実・虚ともに症状は改善

相克

21

相克

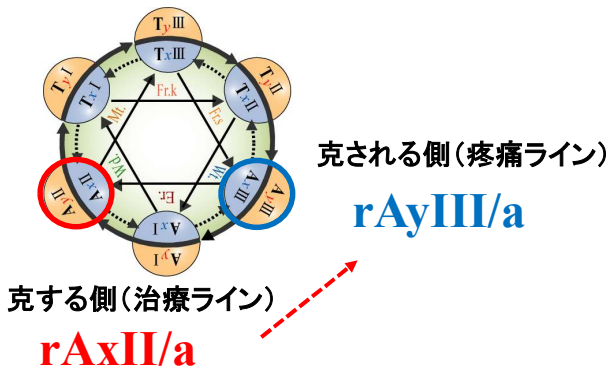
治療ラインの陰経を補して増強することで相克関係にある疼痛ラインの実を改善する



B 克される側 (疼痛ライン)

A 克する側(治療ライン)

相克の治療例 右後頸部痛(rAyIII/a)



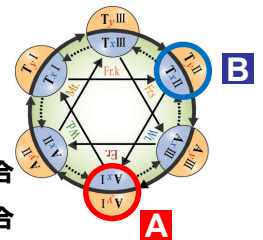
相克におけるラインの状態

A 克する側 (治療ライン)

B 克される側 (疼痛ライン)

A と B がそれぞれ、

- 1 正常の場合
- 2 「実」と「正常」の場合
- 3 「虚」と「正常」の場合
- 4 「実」と「虚」の場合



克される側 (疼痛ライン)
rTyII/a

克する側 (治療ライン)
rAxI/a

陽経 rAyI/a
陰経 rAxI/a

陽経 rTyII/a
陰経 rTxII/a

25

A 克する側への手技

B 克される側 (疼痛ライン)

A 克する側 (治療ライン)

① 正常 ② 「実」と正常 ③ 「虚」と正常 ④ 「実」と「虚」

陽経
陰経

26

A 克する側への手技

1 陰陽ともに正常の場合
陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す。

→ 陰陽のラインが実側に増加する

陽経の基準線
陰経の基準線

C ▲ 補

27

A 克する側への手技

2 「実」と「正常」の場合

① 「実」を除く(C-pointを使って瀉す)
② 陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

瀉

陽経の基準線
陰経の基準線

実 ▲ 補 → 実が取れる

28

A 克する側への手技

2 「実」と「正常」の場合

① 「実」を除く(C-pointを使って瀉す)
② 陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

→ 陰陽のラインが実側に増加する

陽経の基準線
陰経の基準線

C ▲ 補

29

A 克する側への手技

3 「虚」と「正常」の場合
陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

→ 陰陽のラインが実側に増加する

陽経の基準線
陰経の基準線

虚 ▲ 補

30

A 克する側への手技

4 「実」と「虚」の場合

- ① 「実」を除く(C-pointを使って瀉す)
- ② 陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

陽経の基準線
陰経の基準線

実 → 実が取れる

虚

C ▲ 瀉

31

A 克する側への手技

4 「実」と「虚」の場合

- ① 「実」を除く(C-pointを使って瀉す)
- ② 陰経のC-pointを押しながら、F-pointを補す

→ 陰陽のラインが実側に増加する

陽経の基準線
陰経の基準線

虚

C ▲ 補

32

B 克される側の変化

克する側が増強する場合、
克される側はどう変化する
か？

A 克する側(治療ライン)

B 克される側(疼痛ライン)

33

B 克される側の変化

B 克される側(疼痛ライン)

A 克する側(治療ライン)

- ① 正常
- ② 「実」と正常
- ③ 「虚」と正常
- ④ 「実」と「虚」

陽経
陰経

34

B 克される側の変化

1 陰陽ともに正常の場合

変化なし

基準線
基準線

35

B 克される側の変化

2 「実」と「正常」の場合

実が減少する

実側の基準線がシフトする

新しい基準線
陽経の基準線
陰経の基準線

実

正常側の基準線は変化しない

36

B 克される側の変化

3 「虚」と「正常」の場合 虚が増加する

虚側の基準線がシフトする

37

B 克される側の変化

4 「実」と「虚」の場合 実減少するが、虚は増加する

虚側の基準線がシフトする

相克の効果

克される側(疼痛ライン)は

- 陰陽の一方または両方が「実」の場合

実の症状は改善
- 陰陽の一方または両方が「虚」の場合

虚の症状は増悪
- 陰陽の一方が「実」で一方は「虚」の場合

実の症状は改善・虚の症状は増悪

相輔・相克のまとめ

1. 治療ラインの条件は「正常」又は「虚」(「実」がある場合は先に取り除く)
2. 相輔：疼痛ラインが「実」・「虚」いずれの場合も改善する
3. 相克：疼痛ラインが「実」の場合は改善するが、「虚」は悪化させる
4. 相克の後にはラインを整えるための接続を必ず行う

40

相克の治療手順(例:右後頸部痛)

相克の適応: 接続で取り切れない痛み
まず接続を行う (例: 臑腑通治→ITxI/1:a)

克される側 (疼痛ライン) **rAyIII/a**

克する側 (治療ライン) **lAxII/2:(a)**

陽経 **rAyIII/a**

陰経 **rAxIII/a**

陰陽ともに虚がないことを確認する

41

相克の治療手順(例:右後頸部痛)

克される側 (疼痛ライン) **rAyIII/a**

克する側 (治療ライン) **lAxII/2:(a)**

陽経 **lAyII/a**

陰経 **lAxII/a**

陽経 **rAyIII/a**

陰経 **rAxIII/a**

陰陽ともに虚がないことを確認する

陰陽ともに実がないことを確認する

42